

# 日事 知る あの

兵庫県知事

## 井戸敏三



### ◎インド三都市訪問

十二月十九日(日)～二十五日(土)

近年、経済発展の著しいインドのデリー、グジャラート州アーメダバード、ムンバイの三都市及び周辺を訪れた。

二〇〇一年のインド西部大震災の際に、学校の復旧・復興を支援した縁で、グジャラート州のモディ首相を訪問した。首相から、デリーとムンバイの大動脈構想に日本企業に進出してほしい、また、日本人村をつくるという構想もあるので、協力してほしいという話もあった。同州の印日友好協会のパテル

会長からは、姉妹都市提携の提案をいただいた。同州とは、人材・教育(Academic)、経済(Business)、文



モディ首相と久々の再会

化・観光(Culture)、防災(Disaster Reduction)、環境(Environment)、食(Food)のABCDEFの分野を中心に多角的な交流を深めていくこととした。

そのほか、インド政府や商業会議所などの現地経済団体の訪問、兵庫経済セミナーの開催、日系企業の生産拠点などの視察を行った。

### ◎滝川第二高等学校サッカー部優勝報告会

一月十二日(水)

第八十九回全国高校サッカー選手権大会で初優勝の栄冠をつかみ、兵庫県に優勝旗をもたらした滝川第二

高等学校サッカー部の選手たちが優勝報告に県庁を訪れてくれた。テレビ観戦した決勝戦はハラハラする展開で、序盤棄勝かと思いきや終盤に追いつかれそうになったが、攻めの姿勢を貫き見事勝利した。最後まで諦めずに頑張り通すことの大切さを教えてくれた選手たちに心から敬意を表したい。

一人ひとりから試合を振り返っての感想を聞き、改めてチームの結束力の強さを再認識した。進学や就職、



滝川第二高等学校のイレブンたちと記念撮影

プロサッカー選手など、歩む道はそれぞれ違ってくるが、みんなで力を合わせ優勝したというこの経験を忘れない。これからもがんばってほしい。

◎関西広域連合議会臨時会で提案説明

一月十五日(土)

昨年十二月に発足した関西広域連合の初めての議会において、連合長として議案の提案説明を行った。

広域防災や広域観光・文化振興など、いよいよ本格的に広域連合とし



関西広域連合初の議会にて

ての役割を果たしていくことになる。

国の出先機関からの事務・権限移譲の受け皿として、国と地方の二重行政の解消に取り組み、全国に先駆けて地方分権の突破口を開いていきたい。各府県志を一つにして、関西の復権と創造の実現を目指す。

◎ひょうご安全の日のつどい

一月十七日(月)

阪神・淡路大震災から十六年目を迎えたこの日の朝は、地震発生時刻の午前五時四十六分に合わせて県庁の塔屋にある鐘を鳴らし、黙とうを捧げることから始まった。

復興を果たした被災地を、震災当時を思い出しながら歩く「1・17メモリアルウォーク」。今年は震災復興のシンボルである鉄人28号のミニメントの側を通り、十五kmを歩いた。ゴール地点のHAT神戸で開かれた「1・17のつどい」には、平日の、しかも寒波に襲われ厳しい寒さと強風の中にもかかわらず、二千人もの方に参加いただいた。震災の犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、震災の経験と教訓を

全六コースある「メモリアルウォーク」には約三千二百人が参加した



いつまでも忘れることなく、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を新たにしたい一日となった。

◎山陰海岸ジオパークGGN加盟認定記念国際シンポジウム

二月十二日(土)

山陰海岸ジオパークが昨年十月世界ジオパークネットワーク(GGN)に加盟認定されたことを記念して開かれた国際シンポジウムで、開会に当たり「人、自然、交流活動など、多彩な魅力あふれる山陰海岸を世界

に発信したい」とあいさつした。基調講演では、GGNの委員であるニコラス・ゾウロス氏に、ジオパーク活動と地域経済の活性化事例について講演いただいた。

続いて、同氏が代表を務めるギリシャ・レスヴォス島ジオパークとの姉妹提携調印式が行われた。これを機に、資源の保護や活用についての専門知識、ノウハウ等の情報共有や、ジオパークの宣伝における相互支援などで協力していきたい。



姉妹提携したレスヴォス島ジオパークから記念品が贈られた